

「デザインする」ということ

デザインの語源はデッサン(dessin)と同じく、「計画を記号に表す」という意味のラテン語designareである。

つまりデザインとは、「ある問題」を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを様々な媒体に応じて表現することと解される。(Wikipediaより引用)

日常いたるところにあらゆるものがデザインされていますが、はたして「ある問題」は解決できているでしょうか。

また、解決されているとしてもそれは心地よいものでしょうか。

日々の生活でストレスになっていないでしょうか。

「デザインする」ためのプロセスを今一度考え、形にするためのホスピタリティを学ぶセミナーです。



平成25年 10月 25日 (fri) 18:00 開場 18:30 開演

札幌市立大学サテライトキャンパス 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F

セミナー参加費 1,500円 当日会場受付にてお支払いください 定員 60名
セミナー後講師を交えての懇親会を行います 会費4,000円

締切
10/23
(wed)

セミナー1 18:30-19:20 デザインの基本

札幌市立大学の蓮見学長によるセミナー
今まで携わったデザインの話や、モノ・コト・まちづくりのプロセス等、プロジェクトの大小にかかわらず共通するデザインの基本を説いていただき、大学COC事業に採択された真駒内駅界隈の地域活性のためのポイントやグッドデザイン賞の審査員時のエピソードなど紹介していただきます。



講師 蓮見 孝
Hasumi Takashi

公立大学法人 札幌市立大学
理事長・学長
専門分野 プロダクトデザイン
ユニバーサルデザイン
ソシオデザイン

東京教育大学卒。博士(デザイン学)
1971年 日産自動車(株)入社
モデル課長、エクステリアデザイン室代表主担等歴任
ロイヤル・カレッジ・オブ・アート社命留学
1991年 筑波大学に転籍、芸術系教授
芸術専門学群副学群長、広報戦略室長、学長補佐等歴任
2012年より札幌市立大学学長

セミナー2 19:25-20:15 ホスピタリティとしてのサインデザイン

良いサインは気にならない。
サインにとって本当のホスピタリティとは、上質な場をつくり出すことではないでしょうか。
おしつけやおせっかい、あるいはこびへつらうサインではなく、スムーズで、気配りのあるデザインにするには?
さまざまな事例から大切にしたいポイントを解いていきます。



講師 宮崎 桂
Miyazaki Kei
サインデザイナー
株式会社KMD 代表取締役

東京生 東京芸術大学、同大学院修了
業社博デザイン室、プランツアソシエイツを経て
2002年株式会社KMDを設立、代表取締役
建築空間のサイン計画、環境グラフィック、色彩計画を専門とする
SDA賞グランプリ、経済産業デザイン賞、グッドデザイン賞など多数受賞
公益社団法人日本サインデザイン協会副会長、空間デザイン機構理事
2006年よりSDA賞審査員

質疑・応答 20:15-20:30

日本の空間デザイン 札幌駅前通地下歩行空間 北4条イベント広場
SDA・DSA合同パネル展 10月23日(水)から27日(日) 入場無料

■参加申し込み方法 下記フォームよりFAX(011-522-7194)またはメール jun2jun@rose.ocn.ne.jp
問い合わせ SDA北海道地区 メールまたは わたべ 011-522-7193

氏名 _____ 会社名(団体名) _____ 学生

メールアドレスまたはFAX _____ 懇親会 参加する 参加しない